

## 自然の豊かさを伝える 作品に込めたメッセージ

芸術で表現することで  
自然と向き合うアーティスト

降幡 好華 さん (明科)



左上:製作風景 右上:「言葉の樹」下:「かくれもり」

安曇野の自然をテーマに絵画や立体作品の制作活動をしている降幡さん。作品づくりを始めたきっかけや作品に込めた思いを聞きました。

### 自然と美術との出会い

高校時代に美術部に入学したことが芸術との出会いでした。小さい頃から好きだった自然や花を描いてみたいと思いついたのを決めました。そこで出会った顧問の先生に「デッサンなどの基本にこだわらず、好きなものを書いたらいい」と背中を押され、思うままに自分の表現を始めてきました。この言葉の後押しがあったからこそ自信を持って「かくれもり」を描くことができました。芸術を通じて自然ともつ

と向き合いたいと感じるようになり、宮崎県の大学に進学し自然環境と造園工学を学びながら制作を続けました。安曇野を出て暮らすことで安曇野の自然の豊かさや良さを改めて実感しました。

味と安曇野の自然をテーマに制作活動を行っています。学生時代は、「自分が好きなものを作ってそれを見てもらえればいい」という気持ちでしたが、徐々に「作品を通じて安曇野の環境の素晴らしさを伝えたい」と思うようになりました。

**広がる地域とのつながり**

環境をテーマにした立体作品に取り組みたいと思い、約半年間かけて絶滅危惧種のメダカをイメージした立体作品を段ボールと新聞紙で制作しました。3500枚のうろこは新聞紙のカラー部分でできており、インク資源の大切を表現しています。「Earth Fish」と名づけたこの作品はリサイクルアート展2020でグランプリを受賞しました。この作品が立体作品制作のきっかけになりました。

最近では、デザインコンテストやイベントへの参加や個展などをきっかけに、地域の皆さんとつながり、活動の幅が広がってきていると感じています。そのつながりから企業のリーフレットや地域団体のTシャツデザインの依頼をいただくことも多くなりうれしく思っています。

現在は、8月2日、13日に行うミニマルシェの準備を進め、秋に開かれる環境フェアのポスターを手掛けながら

フェアで展示する作品を制作しています。今後は、安曇野の自然を伝えるアーティストとして、子どもが楽しめる絵本やお土産のパッケージの制作など地域に根ざした活動ができたらと思っています。また、壁画の制作にもチャレンジしたいと思っていますので、絵が描ける壁の情報があったら教えてください。

### MEMO

**〇かくれもり**  
高校時代に触れた生き物を想像の森の中に描いた作品。大学時代には「かくれもりII」を制作。

**〇言葉の樹**  
主に新聞紙を使って紙の原材料である樹を表現。根や幹、葉一枚一枚に環境問題に関する言葉が貼り付けられている。環境フェアで展示予定。

明科で生まれ育ち、今も暮らしています。作品を作りながら自然を見つめると、決して当たり前ではないと感じます。この特別な安曇野の環境で子どもも触れて楽しめる作品づくりを大切にしていきたいと思っています。



Instagram  
8月のミニマルシェ情報はこちら



## 前日祭

第9回信州安曇野  
ハーフマラソン

# 安曇野スポーツ フェスティバル

2023.6.3 (Sat) ANC アリーナ



ランナーや市民にハーフマラソン大会前日から体を動かし、安曇野を楽しんでもらおうと、安曇野スポーツフェスティバル2023(実行委員会主催)が初めて開かれました。当日は、子どもに人気のケロポンズによるオーピングイベントでスタートし、市スポーツ大使の有森裕子

さんと篠原信一さん、大会ゲストランナーの福島和可菜さんによるトークショー、松本大学の学生が運営するニュースポーツ体験などが行われ、アリーナの外には飲食ブースが設けられました。約1000人の家族連れやランナーが、大会前日のひとときを思い思いに過ごしました。

### Voice

蘇武 あずささん  
岳くん  
(豊科高家)



参加してみてどうでしたか？

4月に安曇野に移住して来ました。こういった思いっきり子どもが遊べるイベントがあるのは嬉しいです。広いスペースで走り回る子どものイキイキとした顔が見られたのと同時に、私もとても楽しかったので、ぜひまた参加したいです。